

健診結果報告書

所 属		氏 名		性別	生年月日	年令		
社員コード								
検 査 項 目		2013.09.09 一次健診	判定	2012.09.10 一次健診	判定	2011.09.12 一次健診	判定	
身体計測	身長	171.6		170.7		170.9		
	体重	84.8		83.2		80.0		
	肥満度	+31	*	+30	*	+25	*	
	BMI	28.8	* B	28.6	* B	27.4	* B	
	腹囲	96.0	*	92.0	*	90.5	*	
感覚器系	視力	右 裸眼(矯正)	(1.2)	(1.2)		(1.0)		
		左 裸眼(矯正)	(1.2)	(1.5)		(1.2)		
	聴力	右 1000Hz/4000Hz	X / O	O / O	O / O	O / O	O / O	A
		左 1000Hz/4000Hz	O / O	B	O / O	A	O / O	A
会話法								
血圧	1回目	114/ 72		124/ 80		110/ 64		
	2回目	A		A		A		
検尿	ウロビリノーゲン	(N)		(N)		(N)		
	潜血	(-)		(-)		(-)		
	蛋白	(-)		(-)		(-)		
胸部X線	フィルムNo.	間接 No. 2423		間接 No. 2482		間接 No. 2496		
	部位	異常なし		異常なし		異常なし		
	所見欄	A		A		A		
心血管系	所見欄	異常なし		異常なし		異常なし		
	心拍数	A		A		A		
心電図	所見欄	正常範囲		正常範囲		正常範囲		
	所見欄	A		A		A		
眼底	所見欄							
眼圧	右HP/左HP							
消化器検査	胃部X線検査	フィルムNo.	胃ポリープ					
	所見欄							
ヘリコバクター	所見欄	-	* B					
腹部エコー	所見欄	脂肪肝		B				
大腸検査	便潜血1回目	+		*				
	便潜血2回目	+		*		Y		
診察所見	異常なし		異常なし		異常なし			
血液	白血球	5760	A	6000	A	5250	A	
	貧血	赤血球	496		508		520	
		ヘモグロビン	15.2		15.3		15.3	
		ヘマトクリット	45.3	A	46.4	A	47.2	A
		血小板	23.8	A	26.7	A	22.1	A
脂質	総コレステロール	209		234	*	211		
	中性脂肪	202	*	190	*	136		
	HDL-CHO	52		57		55.8		
	LDL-CHO	139	X	157	* X	133	A	

[生活状況]	飲酒: 時々飲む	煙草: 喫わない	運動:	睡眠: 平均 5 時間
[自覚症状]	腰痛や関節痛			
[病歴等]	特になし			
肝機能	GOT	23	24	20
	GPT	22	24	17
	γ-GTP	28	27	22
HBs	A		A	
	A		A	
HCV				
腎機能				
尿酸	尿酸	7.2 * X1	8.0 * Y2	7.5 * X
糖尿病	血糖値	83	71	76
	尿糖	(-)	(-)	(-)
	食後時間	(240)	A	(780)
膵臓				
腫瘍マーカー				
その他血液	ペプシノゲン I	41.3		
	ペプシノゲン II	9.4		
	I / II 比	4.4		
トータル判定		要再検査 X	要精密検査 Y	要再検査 X

● 尿酸値がやや高いようです。再検査及び生活上の注意が必要ですので、医師の指導を受けてください。
● 脂質異常症があります。食事のとり方や運動について医師の指導を受けてください。
● 難聴の疑いがあります。症状が進むようなら、早いうちに耳鼻科を受診してください。
● 太り気味です。今以上に体重が増えないよう注意してください。

■ 今回の健診から、再検査が必要な所見が認められました。医師の指示に従って、該当項目の再検査を受けてください。
☆ タバコをすわないことは、健康にとっても周りの人の環境にとってもよいことです。ご自身とご家族のためにも、これからも非喫煙の意志を貫いてください。
☆ 少量のお酒は、気分をリフレッシュし、様々な健康効果も期待できます。ただし、健康診断で所見が認められますので、しばらくお酒を控えましょう。
☆ 健康を維持する為の運動とは、1日おきに30～40分の心地よさを感じる程度のもので、自分の体力レベルに合わせて、プランを立てましょう。無理は、禁物です。
☆ 夜は、内臓もゆっくり休める必要があります。就寝前の飲食は、身体と食事の両方のリズムを乱します。取ったエネルギーはほとんどが脂肪となる上、消化も充分でないために、翌朝の食欲低下につながります。遅くとも、就寝前3～4時間は、飲食を控えましょう。
☆ 睡眠は、最良の疲労回復剤です。長さには個人差がありますが、午前0時までに眠りにつくと熟睡しやすいと言われています。夜更かしは不眠のもと、早寝を心がけこころも身体もリフレッシュしましょう。